

議会だより

しちたか

議会の録画中継を配信中！
町のホームページから

「げんきにソーラン！」

さくらの保育園発表会

11頁に関連記事



新しい時代に向けて 町に3つの提言

2p

小中学校の全教室に冷房設置 補正予算審議

4p

ここが聞きたい 一般質問・議員が町政を問う

6p

追跡あの事業は今 子育て支援の課題

14p

インタビュー いきいき元気アドバイザー！

16p

2019年 1月15日発行
(平成31年)

Vol.141

山形県白鷹町議会

12月定例会

町に3つの提言

12月 定例会

定例会は12月6日から14日までの9日間で開催され、決定について審議し、原案のとおり可決しました。
一般質問は2議員が行い、町政全般について問いました。

●平成30年度補正予算

●条例改正3件

●損害賠償額の



提言3 白鷹町の活性化

- ◆若者・女性の定住に向けた就労の場の確保、企業誘致の推進や起業支援策の構築、広域的連携による就労の場の確保
- ◆森林・林業再生のための緑の循環システムの早急な確立、町産材の利用拡大の促進
- ◆東北中央自動車道開通に伴う、町への誘導に向けた施策の展開
- ◆高齢者も買い物しやすい環境づくりの推進
- ◆コミュニティセンターが使い勝手の良くなるような支援



まちに残したい、若い技術と品性
(白鷹高等専修学校ファッション・ショー)

新しい時代に向けて

政策提言書を提出

議会では、町の課題を各常任委員会や全員協議会で協議し、新年度予算に反映されるよう11月30日に、町長に提言書を手渡しました。

提言1 人口減少対策

- ◆子育てへの経済的支援、夜間保育や小児医療など子育て環境の充実、子育て世帯の転入推進
- ◆若者等の意見を取り入れた特色ある支援策等による移住定住人口の増加
- ◆健康寿命延伸に向けた検診体制の充実、子育て世代の医療環境の充実



親子で風船遊び！（ニコニコ健康まつり）

提言2 安全・安心で住みよいまちづくり

- ◆地域の実情に応じた機動的な除排雪の実施、高齢者に配慮した除雪体制の確立
- ◆まちづくり複合施設の町民への丁寧な説明、町民が利用しやすい施設の運営
- ◆新荒砥橋の着実な完成、西廻り幹線道路の早期着工、国道287号の早期改良
- ◆道路・水路補修の施工順序の「見える化」



完成が待ち遠しい新荒砥橋
(2021年4月開通予定)

補正
予算

小中学校の全教室に冷房設置

質
疑

冷房設置

12月14日の本会議において、設置工事費等の補正予算が可決。

31年1月下旬の工事発注予定で、今年の夏から使用となる予定。

質疑
早い時期の除雪費増額の理由は
委員 除雪費について、今年はまだ除雪車の出勤実績がないが、例年より早い時期に増額補正する理由は、
当局 昨年の大雪の状況を振り返り、長期予報なども見ると、今の段階で降らないから



早めの対応を高く評価するとともに、高齢者世帯にやさしい除雪体制を望む。

大丈夫だということはないと判断した。年明け後に慌てて対応しなければならぬ状況が、これまでも多々あり、早めの措置で、万全の体制で臨みたい。



道路の除雪はボクに任せて！（大型除雪車）

一般会計補正の主なもの

小中学校冷房設備整備（工事請負費・委託料） 4億円

小中学校の教室に冷房を設置する。

福祉灯油券助成事業 288万円

高齢者世帯等の経済的負担軽減のため、灯油購入に対して1世帯5千円を助成する。

こども園施設型給付費負担金等 4117万円
保育園運営委託料 1493万円

入所実績及び保育単価の改定等に基づく追加計上。

病院費（経営基盤強化費） 2000万円

病院事業会計の経営状況を勘案した対応。

移住定住支援交付金 100万円

執行状況及び実績見込み等に基づく追加計上。

除雪事業（消耗品費・修繕料・委託料） 5139万円

実績見込み等に基づく追加計上及び除雪車用ドライブレコーダー整備の対応。

すまいる住まい！若者定住サポート事業 390万円

執行状況及び実績見込み等に基づく追加計上。

東京オリンピック・パラリンピックホストタウン交流事業（旅費・委託料） 273万円

ホストタウン関連事業の推進に伴う対応。

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

平成30年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一般会計		6億1454万円	92億8474万円
特別会計	下水道	402万円	6億2206万円
	農業集落排水	180万円	1億7038万円
	介護保険	12万円	17億3006万円
	後期高齢者医療	20万円	1億4823万円

※万円未満は端数を調整しています。

条例

●白鷹町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正

地域再生法の一部改正に伴い、移転型事業の認定を受けた事業者に対する固定資産税について課税免除するもの。

●白鷹町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

●白鷹町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に準拠し、白鷹町職員の給与を改定するもの。

損害賠償の額の決定

●事故の概要

平成30年8月23日午後、白鷹中学校において、熱中症予防のためグラウンド内に設置していたテントが突風により駐車場側に飛ばされ、自家用車が損傷した。人的被害はなかった。

●損害賠償額

A車 679,046円

B車 654,471円

※50万円以上の賠償金の支払いは議会の議決を要するため、該当する上記2台が議会に諮られた。他にも50万円未満の賠償金に該当する損傷があった車が5台あり、損害金額は合計2,839,627円であった。費用については、全国町村会総合賠償補償保険制度を適用し対応する。

長井～白鷹間西廻り幹線道路

早期実現に、期待が高まる

同盟会の組織が一本化・・・長井市と白鷹町

建設促進期成同盟会が新たに発足

12月19日、長井市と

白鷹町の組織を一本化

する建設促進期成同盟

会の設立総会が長井市

を会場に開かれた。

両市町の、行政や民

間の各種団体の関係者

のほか、白鷹町議会か

らは議長、副議長と産

建文教常任委員が出席した。

議事では、会長に内

谷重治長井市長、副会

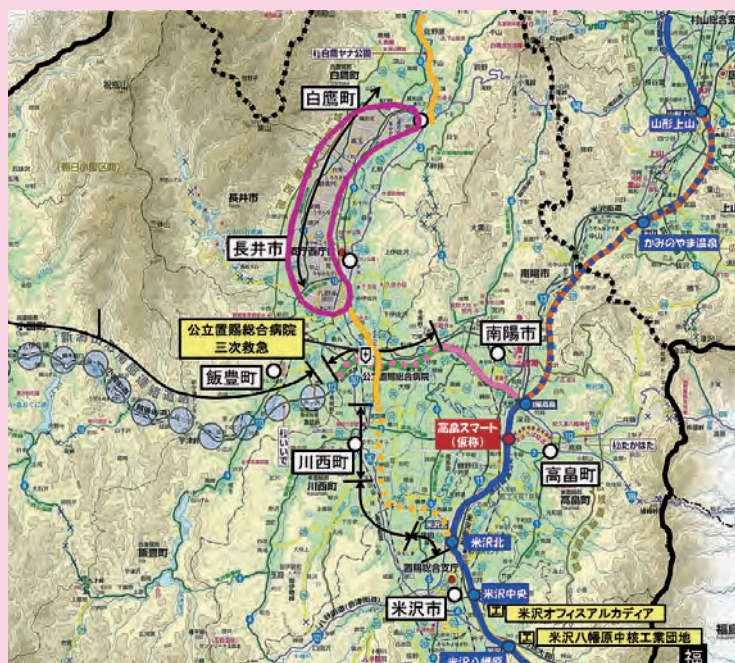
長に佐藤誠七白鷹町長

が就任するなどの役員

人事が承認され、今後

の活動方針などについ

て協議された。



荒高生の意見を町政に

町長 提言を参考にさせていただく

◆荒砥高校生と議員の意見交換会から

意見の反映を

問 第6次白鷹町総合計画策定の町民会議が開かれていますが、荒砥高校生の意見を反映できないか。

町長 提言をいただければ、ぜひ参考にさせていただきます。

町内企業情報の周知を

問 就職活動中の方々に町内企業の情報を広く知ってもらう方策は。

町長 荒砥高校の1、2年生を対象にした企業合同説明会の開催や成人式の際、町内製造業の概要一覧の



笹原俊一議員

情報提供をしている。

問 商工会と連携し町ホームページに全業種の企業ガイドブックを作れないか。また、ハローワークへのリンクは可能か。

商工観光課長

全業種のガイドブックは企業の理解、各課の協力が必要な事も踏まえ慎重に検討する必要があります。

ハローワークへのリンクは可能だが、効果を考えながら進めなければならぬと考える。

若者が集う施設に

問 複合施設の町民ラウンジや図書館は若い人たちが日常的に集まる施設になるか。

町長 町民ラウンジは誰もが気軽に立ち寄りくつろげる空間にしたい。図書館は本や文具等が買えるコーナーの設置も検討している。

若者の不安

問 白鷹病院に小児科や産婦人科が無いということが若者の不安の一つ。病児・病後児保育を含めた対応は。

町長 小児科と産科の確保は非常に厳しい状況であるが、経済的な負担軽減をはかる事業や「子育て世代包括支援センター」の設置など切れ目ない支援の提供に努めている。

病児・病後児保育は大変重要な取り組みであると認識しており前向きに検討を進める。

通学路の安全対策

問 街灯が暗く歩道のない通学路や危険な交差点の問題も提起された。交通弱者・歩行者の目線での整備が必要ではないか。

町長 新たな防犯灯設置の要望に対しては、歩行者の夜間の安全を確保することを目指す。危険な交差点の対応として交通の円滑化と事故防止に向け、拡幅や舗装のカラー化、標識の設置などを行っている。



活発な意見交換会

問 夜の通学路点検を実施してはどうか。

町民課長 暗くからつてからので、学校などと連携を取り対応していく。

荒砥高校入学者の確保

問 中学生の進路が決まる時期。入学者確保に向けた町長の決意を問う。

町長 荒砥高校の存在をまちづくりの根幹と位置づけ、これまで様々な支援をしてきた。

今後変わることもなくさらに荒砥高校が活性化するように入学者の確保に向けて努力していく。

地元企業への就職支援を。

高齢化社会の高齢者の生活全般に対する課題は

町長 高齢者を支える世代の減少を踏まえた取り組みを進める



奥山勝吉議員

高齢者の世帯数は

問

65歳以上と75歳以上のひとり暮らしの人数と、高齢者のみの世帯数は。

健康福祉課長

65歳以上は549人、75歳以上は299人、65歳以上の高齢者のみの世帯は1166世帯である。（30年4月現在）

单身男性の生活不安は

問

单身者の悩みや要望へのアンケート調査をすべきでは。

企画政策課長

今のところ、しほり込んだアンケートは実施していない。第6次総合計画策定に向けて、どのように意見を集約していくか検討する。

高齢者の働く場は

問

高齢者の社会参加と働く意欲の醸成は。

健康福祉課長

70代も現役に近い形で活躍している。地域の中での高齢者の活躍に期待する。シルバー人材センターへの登録者数も減っているが、高齢者の社会参加にどのような支援ができるか検討したい。

商工観光課長

各企業では、人手不足により、長く働いてもらわなければならない状況。特に専門的な知識のある方には、70歳位まで働いてもらわないと人材も育たないとのこと。

農林課長

90歳を超えた方が直売所に出荷し、売れることが励みになっている事例もある。直売所等を利用しながら収入増につながるようPRしていく。

高齢者の買い物支援は

問

買い物環境充実に実証実験事業の御用聞きと、がんばる商店応援事業の中間状況は。

商工観光課長

御用聞きは蚕桑地区を対象に実施。利用者は10人である。高齢者は他の方法でも買い物ができるため、今後、移動販売に集約できないか検討している。がんばる商店応援事業は、共同組合ゆーしーるが実施するポイントカード事業に対する支援。29年度と比較し、43万5千ポイント、金額では4350万円ほど増えている。うち半分は町補助金のため、実質2200万円ほどの経済効果とみている。



七ヶ宿町の公設民営コンビニ

買い物弱者への対応は

問

公設コンビニのような形の施設で、生活産品が買える状況が必要では。

町長

鮎貝区からも要望書が提出されており、真摯に受け止めている。鮎貝、蚕桑の事業者とも調整していく必要があるが、総合的な商店の出店及び移動販売等は重要であると考えられている。新荒砥橋が開通する前に、方向性を決められればと考えている。



高齢者の声を常に受け止めて。

総務厚生常任委員会

実効性のある施策を

12月11日に委員会が開催され、白鷹町振興実施計画の策定について説明を受けた。

3年間の実施計画

【振興実施計画とは】

まちづくりを推進するための具体的な事業内容を示すもの。毎年改定する。

【計画の期間】

平成31年度～33年度

【ポイント】

- ①人口減少緊急対策を、引き続き実施
- ②効率的な施策の展開
- ③新たな総合計画を策定するうえで、現時点で考えられる事業の想定

◆主な新規事業（※具体的な内容は、今後検討していくとのこと。）

事業名	実施年度	事業の内容
病児・病後児保育事業	32～33	医師・医療機関の協力を得て実施を検討
共同運営店舗建設支援事業	31	買い物空白地への商業施設の導入支援
広域観光の推進☆	31～33	観光資源の発掘、魅力向上、情報発信等
教育環境・生涯学習の充実☆	31～33	専修学校への広域での支援等
町立病院大規模修繕	31～33	施設等の修繕・更新、医療機器の更新

☆は、置賜定住自立圏構想での実施を検討している事業。

質疑

買い物空白地の解消へ
委員 共同運営店舗建設支援事業について、現時点の取り組み状況は。

当局 公共施設や企業住居の混在地に買い物ができる仕組みを作れないか、動きを進めている。地元の事業者や地域の要望も踏まえながら、進めていきたい。

町民目線の施策を。

安全な生活環境を

【経過・取り組み】

11月に白鷹町空家等対策協議会を開催し、12件の空き家を「特定空家等（※）」に認定した。今後、法に基づき、助言・指導を行っていく。

（※）放置すれば保安上危険となるおそれがあり、法的措置の対象となる空き家。

質疑

本当に危険性のある空き家の件数は

委員 危険性のある空き家72件が、町の調査で26件になったのはなぜか。

当局 72件すべて調査し、倒壊に直結する危険性があるかどうかで

12件を「特定空家等」に認定
空き家対策の取り組み状況について説明を受けた。

危険性のある空き家の調査・認定の状況

年 月	経過・予定
H28.8	地区の協力による町全域の実態調査において、危険性のある空き家が72件と報告。
H28.11	72件を町で調査。26件に絞る。
H30.8	「特定空家等」の判定のため、26件のうち13件について現地調査を実施。
H30.11	白鷹町空家等対策協議会で、12件を「特定空家等」に認定。
H30.12～	12件に対し、「特定空家等」の認定通知、助言・指導の通知。 残り11件について現地調査を実施。
H31.2～	残りについて、白鷹町空家等対策協議会で協議。認定通知、助言・指導の通知。

※26件の中には、すでに自主的に解体された物件もある。

権利者の理解と協力の推進を。

判断した。26件以外の物件も、引き続き状態を確認しながら進めていく。

その他

- 平成30年度給与改定等
- 定住自立圏構想の検討状況
- 第2次障がい者プランの中間評価
- 第2次健康増進計画の中間評価
- 民間保育所支援事業
- 山形県地域医療構想をふまえた今後の病院運営の方向性について説明があった。

産建文教常任委員会

小中学校の猛暑対策

12月12日に委員会が開催され、小中学校冷房設備整備事業について説明を受けた。

冷房整備に向け基本調査を実施

【経過・目的】

猛暑により、教室内が35度以上になる日もある。環境改善をはかるため、冷房設備整備に向けた基本調査を実施した。



質疑

工事費の内訳は

委員 冷房設置と電源

基盤改修の内訳は。

当局 実施設計はまだ

であり、あくまで予算

上の金額だが、冷房設

置1億8730万円、

電源基盤改修1億89

60万円である。

- ◆【調査概要】
小中学校の普通教室・特別教室
- ◆【調査内容】
・冷房設備の規格、基数
・電源設備の改修規模
・概算工事費等
- ◆【今後の予定】
31年1月下旬に工事発注予定。

主な工事内容

各教室冷房設備設置 103室
電源基盤設備の改修 全校

概算事業費

総事業費（予算） 4億円
財源：国交付金・過疎対策事業債等

学校ごとの整備予定教室数

種別	蚕桑小	鮎貝小	荒砥小	東根小	白鷹中	合計
普通	6	8	14	8	13	49
特別	10	11	9	8	16	54
計	16	19	23	16	29	103



来夏に向け、猛暑対策は急務！
子どもたちが、楽しく安全に学校生活を送れるように！

今後の経営が課題

【経過】

平成22年2月に設立され、27年度に事務所を町武道館に移転。28年度から介護保険事業を受託し、介護予防にも取り組む。

【30年度の状況】

運営体制

会長 1人

副会長 3人

運営委員 28人

事務局長 1人

クラブマネジャー 1人

予算規模

総額10006万円

会員数【30年11月現在】

93人（継続56人

・新規37人）

主な教室

ヨガ、走りつか、体

感バランスなど11教室

を開催。

設立から7年、RO*KUの今は

総合型地域スポーツクラブRO*KU（ロック）の状況について説明を受けた。

【今後の課題】

- ・経営のあり方
- ・体育協会との連携
- ・各種スポーツイベントとのかかわり



高齢者の介護予防を指導

質疑

スポーツジムのように

委員 会員数は若干減

少傾向。民間のスポー

ツジムのようにできな

いか。

当局 民間のジムは、

拠点施設や器具等があ

って経営している。町

武道館のスペースや器

具等は限られているた

め、今の環境では難し

いと考える。



町民に喜ばれる教室を開催し、継続的な運営を。

その他

○森林境界明確化事業の状況

○買い物環境充実支援実証実験事業

○日本の紅（あか）推進事業の状況

○移住定住の取り組み状況

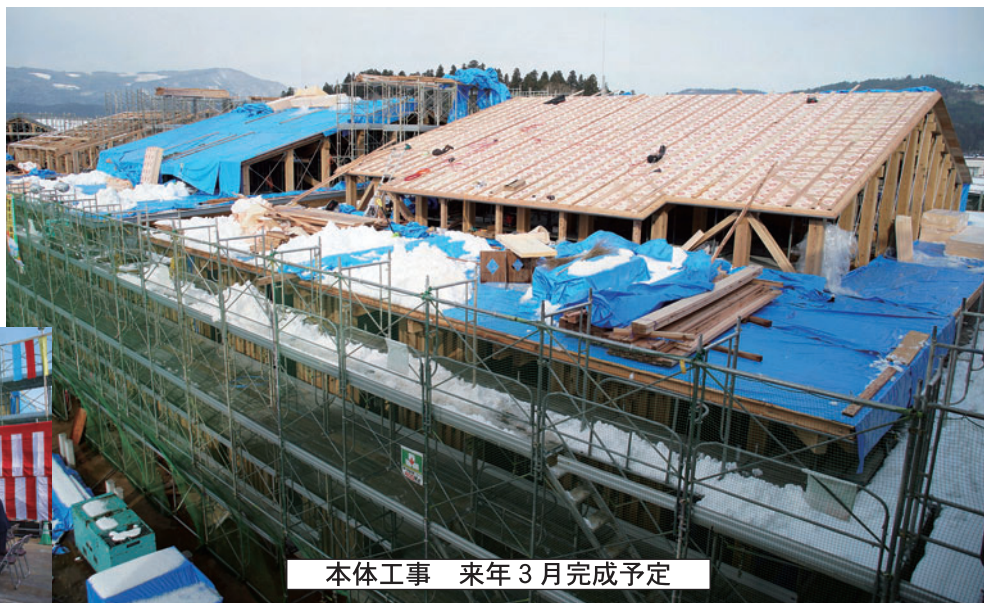
○若者定住等に向けた住宅施策

などについて説明があった。

総事業費が増額

32億2000万円から36億円を上限に・・・

・・・アスベスト処理・Wi-Fi(ワイ・ファイ)整備などによる



上棟式 10月

本体工事 来年3月完成予定



車庫 完成



防災倉庫 完成

質疑

総事業費が増額か

委員 総事業費が増額になるとのことだが、

アスベスト処理は当初からあったはず、

詳しい説明を。

当局 36億円を上限と考えている。作業が複雑で、労務数も増加し

アスベストの処理に当初の想定より多くの費用がかかるほか、新庁

舎に新しくWi-Fi・ファイ(インターネット通信手段の一つ)を整備

したい。

委員 町民に対して、理解を得るための説明

はどのように行うのか。

当局 丁寧に説明していかねければならない

必要に応じ、広報などで説明をしていく。

今後の取り組み

2019年5月

現庁舎と中央公民館の解体工事に着手



36億円を超えないように！

議会活性化特別委員会 中間報告

議会運営を見直し

議員定数が減ることによる影響や効率性を調査検討



宮城県七ヶ宿町議会視察研修
(第一分科会)

◇これまでの経過◇

◆平成27年5月に特別委員会を設置し、議会活性化のための調査研究を行ってきた。

◆平成29年3月の定例会で、調査結果についての1回目の中間報告を行い、同6月の定例会において、議員定数を、現行の14人を来期から12人とする条例の改正を行った。

◇2回目の中間報告◇

◆引き続き、先例となる他町議会の視察や、荒高生との意見交換会を実施するなど、情報の収集と調査研究、検討を行ってきた。
(12頁に関連記事)

◆議員報酬や議会運営の見直しなどの調査結果について、今定例会で2回目となる中間報告を行った。

主な調査の結果（現在までの検討状況）

項 目	検 討 結 果
議員報酬	待遇面からも報酬を引き上げ、各年代層、各職種から議員のなり手を確保すべき。
政務活動費	県内でも導入しているところが少なくなっており、廃止すべき。
常任委員会	「総務厚生」「産業建設」の2つとし、それぞれ定数を6人とする。
議会運営委員会	定数を5人とする。
議会広報特別委員会	今後も特別委員会とし、定数を6人とする。
議員の資質向上	外部・内部の研修機会の確保をはかる。
住民との意見交換会	さまざまな方の意見を聞くため実施する。方法は継続して検討する。
タブレットの導入	近隣でも導入している議会もあり、継続して検討する。
その他事項	今後も検討を進め、できるものから実施していく。



ばんきにソーラン！
さくらの保育園発表会
12月1日、発表会の最後をしめくくったのは、年長児による、「よさこいソーラン」のおゆうぎでした。
少ない練習時間の中でも、みんなしっかりと踊りをおぼえ、本番ではお家の人にカッコいい姿を見せることができました。

表紙

大人の都合や考えだけでは 未来の白鷹町は良くならない

荒砥高校生の声より



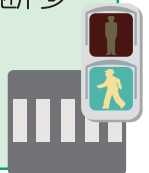
【地域交通】

荒高生の意見

- フラワー長井線の運賃が高い。
定期券も高い。
- スクールバスを高齢者も利用し
やすくできないか。
- 駅からの坂道が狭く、危険。
- 冬になるとセーフティーゾーン
は雪で見えなくなり危険。
- 街灯が暗い。国道 348 号沿いも
暗い。

荒高生のアイデア

- 低料金なら利用者も増える。
イベントを増やし、安い料金で
利用してもらい SNS で広める。
- スクールバスは学校に合わせる
のではなく定時に運行する。
- 道路にはもっと街灯を増やす。
危険で交通量が多い所へ横断歩
道や信号機を設置する。



若者の意見を参考に安心の町づくりを！



荒砥高校生との意見交換会

議会活性化特別委員会 第二分科会報告

11月7日、荒砥高校^{ふく せい}復禮会館をお借りして、荒砥高校生と
白鷹町の将来について～人口減少に歯止めをかけるには～
とのテーマをきっかけ、意見交換会を行いました。

【定住・Uターン】

荒高生の意見

- 都会に慣れて住みやすくなり、Uターンが減る。飲食や遊ぶ所が少なく、本屋がない。
- 携帯で白鷹町を調べても情報がない。行きたいイメージがない。地元の魅力を発信できていない。
- 大学卒業後戻りたくても自分に合う企業がなく戻りづらい。また、企業のことかわからない。

荒高生のアイデア

- 親子公園を作り、飲食店などを一か所に集めれば一日中遊べる。軽食店やカラオケ店を増やす。
- 若い人にうけるようなPR動画やCMを作りSNSで町の特徴や特産品を広める。
- Uターンしやすい企業をつくる。白鷹町の企業情報などのパンフレットを家に送る。



【結婚・子育て】

荒高生の意見

- 婚活セミナーを初めて知った。セミナーでは大人数のため話せない人もいないのではないか。
- 部活動にお金がかかり親に迷惑をかけていると感じる。
- 女性が利用する喫茶店やエステなどがない。
- 町立病院に小児科や産婦人科がなく、町内で出産ができない。

荒高生のアイデア

- 婚活のPRを増やす。ネット上で受講し個別相談を受けられるようにする。
- 部活動へ町の支援があれば、親の負担が減る。
- 女性対象の店や、女性が輝ける職場があれば定住につながる。
- 町立病院に小児科や産婦人科があれば、子育ても楽になる。



援の課題

子育て支援住宅

●子育て支援住宅の目的・概要

安心して子育てができる、良質な住宅を提供



・若者の町外流出の防止
・町外からの子育て世帯の移住促進



白鷹町
に定住

- ・平成20年度、21年度の2カ年度で整備。
- ・全12棟のうち、8戸を町外からの転入者用、4戸を町内出身者用としている。

◆いつまで入居できるの？

一番下の子どもが中学校に就学する年の3月31日までを入居期限とする。ただし、新たに子どもが出生した場合は、入居期限を延長することができる。

●入居期限による退去

◆平成30年12月現在の退去予定

平成30年度に1世帯、平成32年度に1世帯、平成35年度に1世帯が退去予定。その後も、順次退去となる世帯が出てくる。



入居者が多い

●退去後の支援

入居中に資金を蓄えていただき、四季の郷住宅用地や町内の分譲地等に住宅を取得し、定住していただくねらいもある。

「すまいる！四季の郷」定住促進プロジェクト補助金、すまいる住まい！若者定住サポート事業補助金などを活用いただき、退去後も白鷹町に住んでいただくよう支援する。

また、住宅の新築や民間賃貸住宅への入居が困難な場合は、公営住宅（県営・町営）等を活用し対応していきたい。



退去予定者に寄り添った施策を。

子育て支援センター 「にこぽーと」

●「にこぽーと」の目的・概要

子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育てに関する相談・援助等により、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。

利用料は無料で、すこやか遊び広場や赤ちゃん広場、育児講座、ふれあい交流事業などを実施している。平成25年度からは、町からの委託を受け、白鷹町社会福祉協議会が運営している。

みんなで楽しく！
みんなで笑顔！



ママとおあそび



楽しくゲーム



ヴァイオリンの音色にうっとり



ボディタッチでふれあい

●利用できる日は

にこぽーとの利用

- ・開館日 毎週日曜日～金曜日
- ・利用時間 午前9時30分～午後3時30分
- ・休館日 毎週土曜日
(他、年末年始、お盆期間など)

休日の保育支援は？

- ☆ファミリーサポートの事業は、土日祝日の利用が可能。
- ☆保育園・こども園では、月曜日から土曜日まで、未入園児の一時保育を実施している。



土日が休みとは限らない職種が増えている。
利用者ニーズに合った対応が必要。



遠藤 初美 先生

みんな気楽に
おいでくだ
さい。

いきいき健康アドバイス



みんなを元気に!

… お年寄りや子どもの集いの場に …

今回は、遠藤接骨院の遠藤初美先生に、お話をうかがいました。

開業ときっかけは

平成3年5月の開業当時、白鷹町には女性の柔道整復師がいなかったため、女性の立場で開業しました。

女性の患者さんの病状は

長い間の日常生活や仕事によるむぎの痛み、腰の痛みで来られる方が多くいます。

これから気をつけることは

特に女性の方は、家事や子育てをしながら仕事もしており、男性の方より体が疲れているようです。これからは、体をいたわってもらいたいです。

女性の接骨院としての役割は

女性の患者さんには、いろんなことを話してもらえよう、話し相手になるように努めています。

これからの接骨院と社会の関わり方は

接骨院にはいつもいますので、高齢者や小さな子どもの学童保育的な役割も担えるよう、みんなが気楽に通えるような場所であることが大事であると考えています。



高齢者の居場所づくりは

高齢者の心と身体のケアを心がけていきたいと考えています。そのため、接骨院としてだけでなく、集いやすい場所としての取り組みをしていきたいです。そのための足の確保が課題です。

町や議会に望むこと

町の事業について、わかりやすく情報発信をお願いしたい。デマンドタクシーの土曜日の試験運行をしていたことを知らない人が多く、利用できなかったという話があります。議会では、町民の視点に立った提案を大事にし、行政への提言を多くやってほしいです。

取材を終えて

女性の立場から見た身体の疲れ方が、男性とは違う事を改めて知らされました。接骨院を集いの場という考え方は、高齢化社会において大事な視点であると感じられました。

(奥山)



マスコットのミニー

編集後記

▼平成最後となる本格的な冬がやってきました。今定例会では、昨年のような大雪に備え、万全な体制で除雪に望むために、除雪費が増額になりました。

雪が融け、暖かくなる頃には新しい時代がやってきます。我が町にも、更に明るい光がそそぎ、さわやかな風が吹くことを願います。

▼アンケート葉書を添付いたしました。議会への、または本誌をお読みになつてのご意見やご感想をお聞かせください。皆様の声を参考に、開かれた議会、そして読みやすい『議会だより』となるよう、広報委員一同努めてまいります。

(佐々木)

広報委員

委員長 奥山 勝吉
副委員長・編集長 佐々木 誠司
委員 石川 重二
委員 笹原 俊一
委員 渡部 善美
印刷・(有)梅津印刷

発行責任者 白鷹町議会 議長 遠藤 幸一 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地 電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128

E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/>

